

鼓阪小学校 学校通信

鼓阪っ子だより

教育目標

“夢いっぱい

かしこく やさしく たくましく”

発行

2020（令和2）年1月8日

新しい年がスタートしました

新年あけましておめでとうございます。昨年は、本校教育の推進に何かとご協力いただき、誠にありがとうございました。本年もよろしく願いいたします。



昨日、全校の子どもたちと顔を合わせ、3学期の始業式を行い、次のようなお話をしました。

2学期の終業式で、冬休みに1年の目標を考えましょうとお話ししました。「一年の計は元旦にあり」と言います。「今年は〇〇をがんばろう」とか「〇〇を続けよう」とか、何も思い浮かばない人は、ぜひ今からでもいいので考えてみてください。何か目標があると、その目標を成し遂げるために自分の力を出してがんばることができます。それを一言でいうと「努力」と言います。たとえ目標が達成できなくても、毎日毎日の努力は、自分を作る大きな力となります。一日一日の成長は自分ではなかなか気が付かないものですが、1年後に「こんなことができるようになった」と実感できる一年にしてほしいです。

いよいよ3学期の始まりです。1学期の登校日数は68日、2学期は81日でした。それに比べて3学期は52日と短く、この締めくくりの52日間は、学年のまとめとして大切な時期になります。1年生から5年生までは一つ上の学年に、6年生は中学生になる準備ができるようにしてほしいです。

さて、今年の干支は十二支の1番目である「子（ねずみ）」です。ねずみは古代から、人間の大切な穀物を荒らす憎い敵とみなされてきましたが、一方で、その繁殖力の高さから子孫繁栄の象徴とされています。また、「火事の前にはねずみがいなくなる」などの言葉があるように、予知能力の評価が高く、七福神の一人である大黒天を危険から救ったとの昔話から「ねずみは大黒天の使い」とのことわざもあります。子どもたちには、子年にちなんで、友だちが困っていることを見逃さず、支え合っていけるようななかま作りをしていこうと話しました。本年が本校にとって、いじめやなかま外れのない「平和」な年となるよう職員一同取り組んでいく所存です。よろしく願いいたします。

◎1月の行事予定

7日(火)	始業式	22日(水)	13時30分下校 (奈良市人権教育研究大会参加のため)
8日(水)	給食開始		
9日(木)	委員会	24日(金)	参観・懇談会
10日(金)	脊柱モアレ検査(5年)	27日(月)	ゲストティーチャー授業(5・6年)
13日(月)	成人の日	28日(火)	若草こども園との交流(1・2年)
14日(火)	租税教室(6年)	29日(水)	英会話教室
15日(水)	クラブ	30日(木)	劇団四季鑑賞(6年)
16日(木)	赤十字紙芝居(1・2年) 昔遊び体験(1・2年)	スクールカウンセラー	16日(木)・30日(木)
17日(金)	避難訓練 1.17 集会	8日 学校の安全を考える日	
20日(月)	なわとび週間(~24日)	11日 人権を確かめあう日	
		17日 子ども安全の日	



避難訓練(1.17集会)について 1月17日(金)

1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災から、25年の歳月が過ぎようとしています。その間、わが国では、未曾有の被害をもたらした東日本大震災(2011年)や熊本地震(2016年)などの地震が起こり、今なお被害に苦しむ方々が多く存在しています。2018年6月の大阪北部地震は、児童の登校時間だったことで対応に機転が必要だったこと、また、ブロック塀問題が指摘されるなど、学校にもたいへん影響の大きい地震でした。

鼓阪小では、毎年1月17日に地震を想定した避難訓練を行い、その後に集会を行います。お話を聞いたり映像を観たりすることで、災害にあった人々の思いや人と人とのつながりの大切さに気付く機会になればと考えています。ご家庭でもぜひ、災害への備えや心構え等について、子どもたちも交え話し合っておいていただきたいです



「きらめき」(鼓阪小生徒指導より) — 新たなはじまり, そこから… —

2020年,新しい年が始まりました。

新年を迎えた瞬間,「今年は,こんな自分に・・・!」と,気持ちを新たにしたい人,夢や希望を思い描いた人などたくさんいたと思います。

2019年に出来なかったこと,途中まででやり切れなかったことはありませんでしたか?

新しい年明けを機に,目標に向かって進んでみましょう!

その目標とは,学校で,家で,きまりのある生活・身だしなみ・学習など,しっかりした自分ルールを作ってみる事です。そこから見えてくる新たな自分発見をしてみましょう。

12月の生活目標は,
「あったか言葉の輪を広げよう」
生活目標を守り,安心・安全な学校をみんなで作ってあげよう。